

表 2024年中国税関知的財産権保護典型事例一覧

	事例名
1	深セン税関が太陽光発電設備の特許権侵害案件において技術調査官を導入した事例
2	上海税関が対外貿易「新三様（注）」権利侵害品を押収した一連の事例
3	杭州税関が重大案件迅速対応メカニズムを発動し、行政部門と公安部門が連携して権利侵害ドリルを押収した事例
4	アモイ税関が「食品」保護網を構築し、権利侵害調味料を押収した一連の事例
5	北京税関などが文化・クリエイティブ製品の保護や「海外展開」サポートを推進した事例
6	広州税関が権利侵害スポーツ用品の輸入を差し止めた一連の事例
7	黄浦税関などが効率的に連携し、権利侵害運動靴を押収した事例
8	青島・寧波税関がアフリカ諸国への権利侵害品輸出を差し止めた一連の事例
9	成都・ウルムチ・拱北税関が越境ECルートにおいて権利侵害品を差し止めた一連の事例
10	南京・天津・大連税関が「中華人民共和国税関行政処罰裁量基準（三）」を正確に適用した一連の事例

（注）中国の輸出を牽引する「新御三家」。具体的にはリチウムイオン電池、電気自動車（EV）、太陽電池を指す。

なお「老三様（旧御三家）」は衣類、家電、家具を指す。

（出所）海関総署「2024年中国税関知的財産権保護典型事例」を基にジェトロ作成